

点群処理ソフトウェアを用いた 座標変換実施手順例 (TREND-POINT (Ver.10) 編)

※バージョンにより画面構成やコマンド名が異なる場合があります。

はじめに

まずは、基本的な使い方を覚えましょう。

3Dビューの表示

3Dビューの表示について説明します。

移動：

マウスホイールを押しながら移動させます

画面の拡大・縮小：

マウスホイールを上
に回すと拡大
下に回すと縮小



回転：

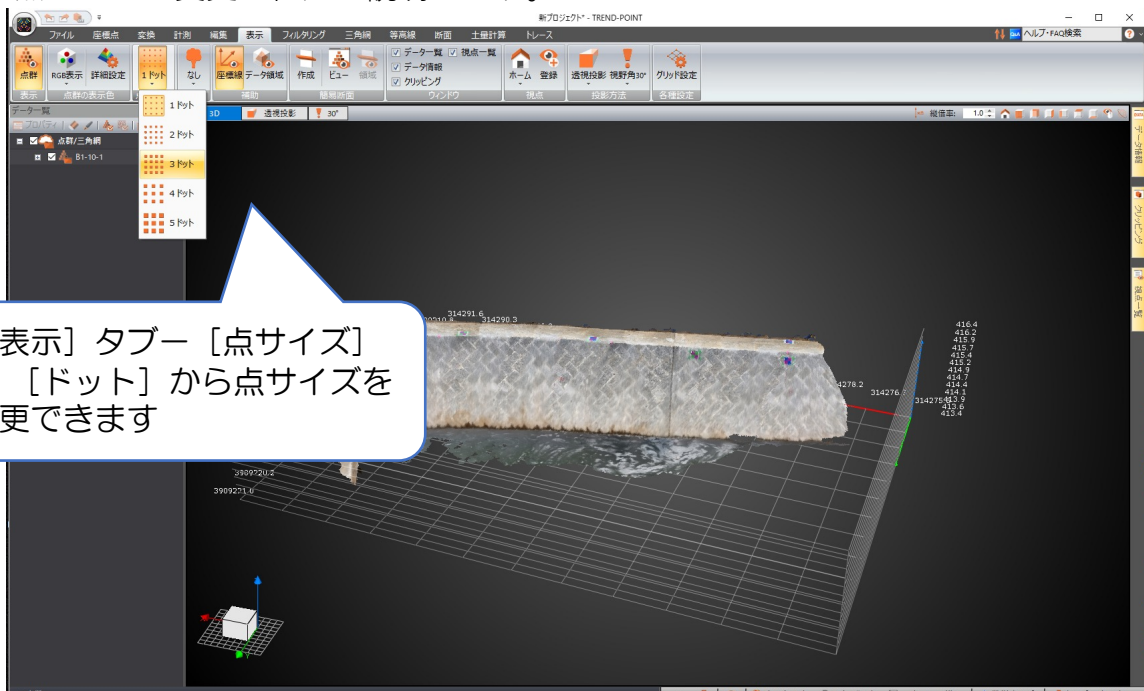
右マウスを押しながら
回転させます



点サイズの変更

点サイズの変更の仕方を説明します。

「表示」タブー「点サイズ」
ー「ドット」から点サイズを
変更できます



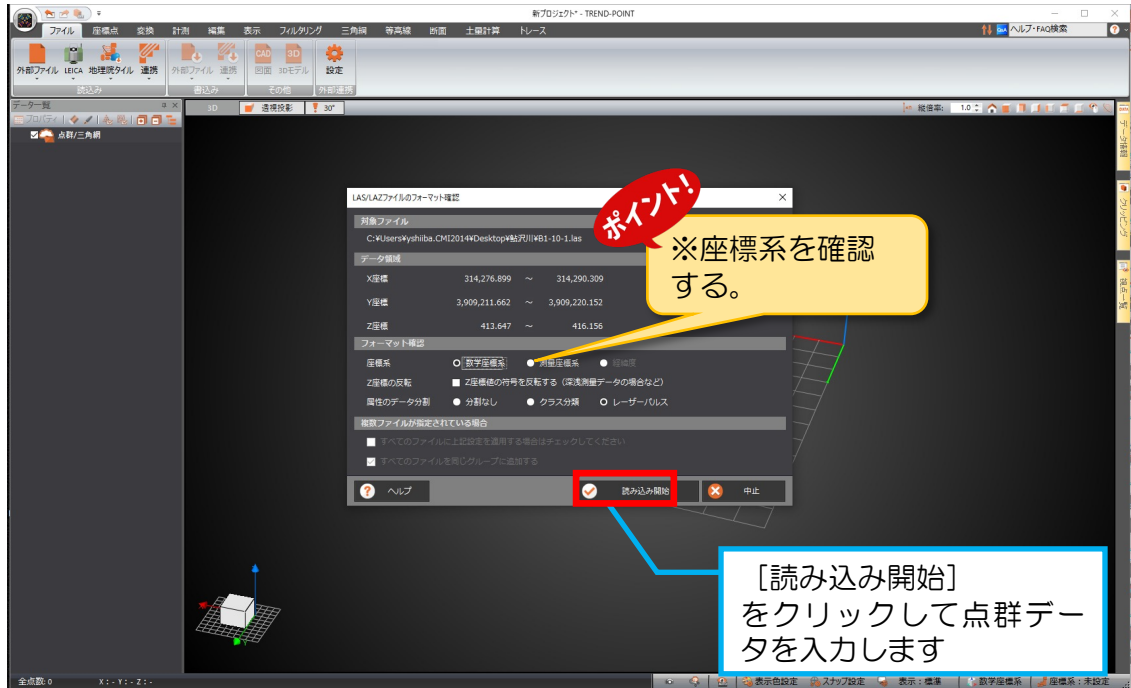
1

The screenshot shows a Windows File Explorer window titled '開く' (Open). The address bar shows the path 'PC > スタスクリップ > 船尻川'. The left sidebar shows the navigation pane with 'このPC' (This PC) selected. The main area displays a list of files and folders. A red box highlights the '開く(O)' (Open) button in the bottom right corner of the window.

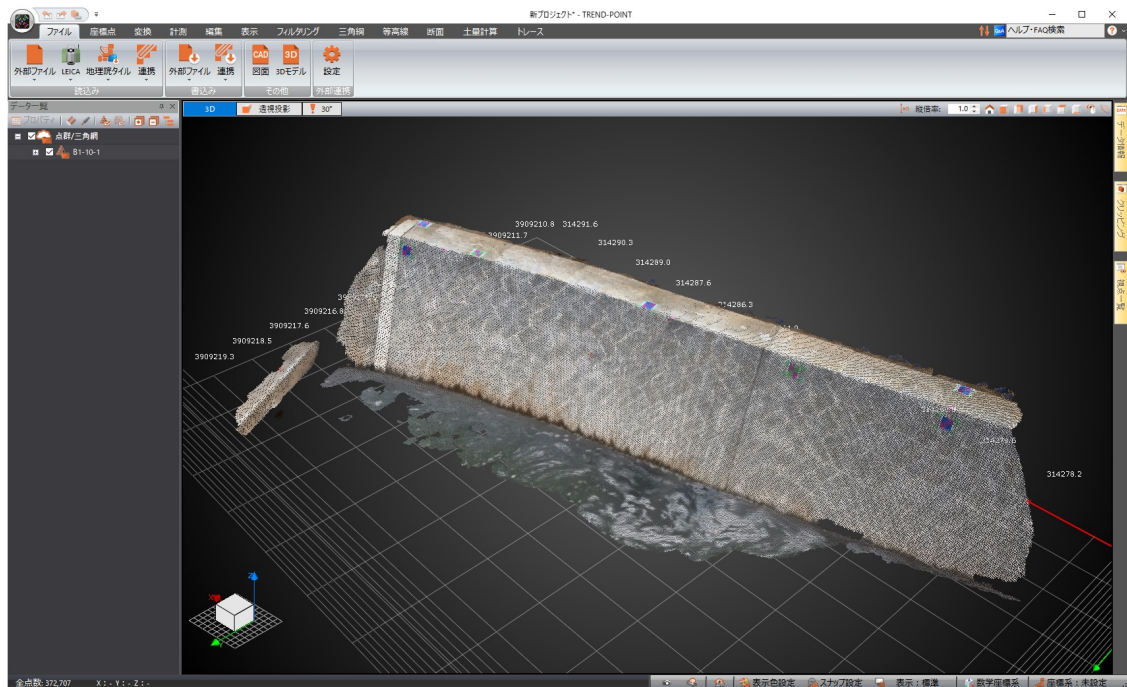
2

使い方

③選択したデータを入力します。



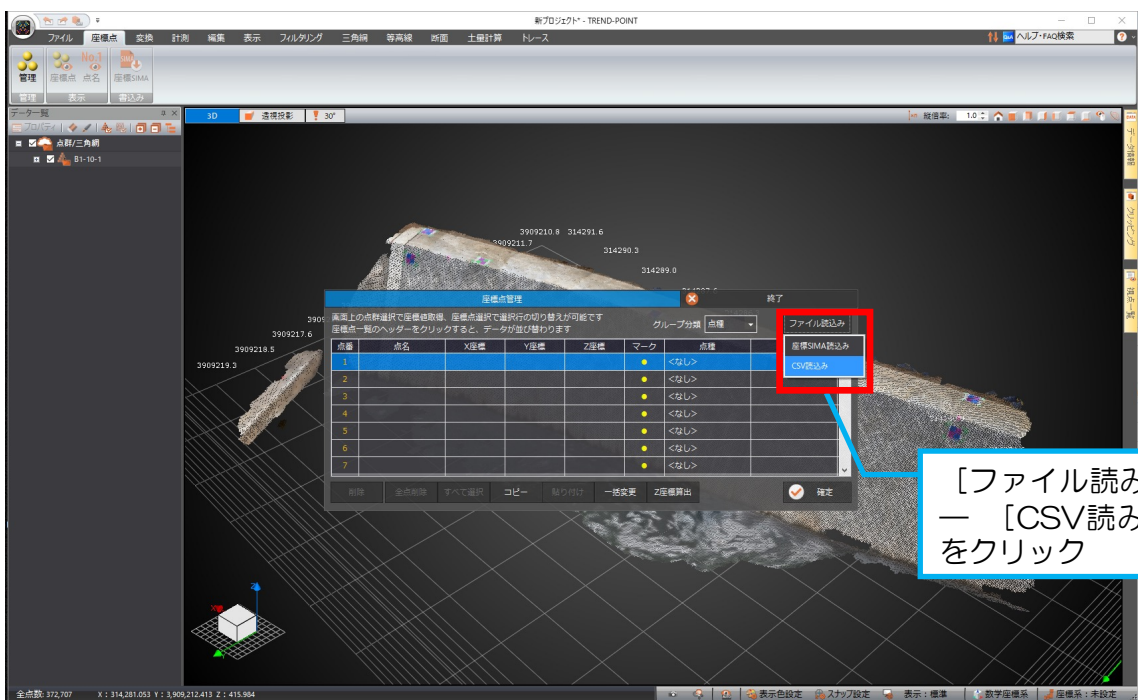
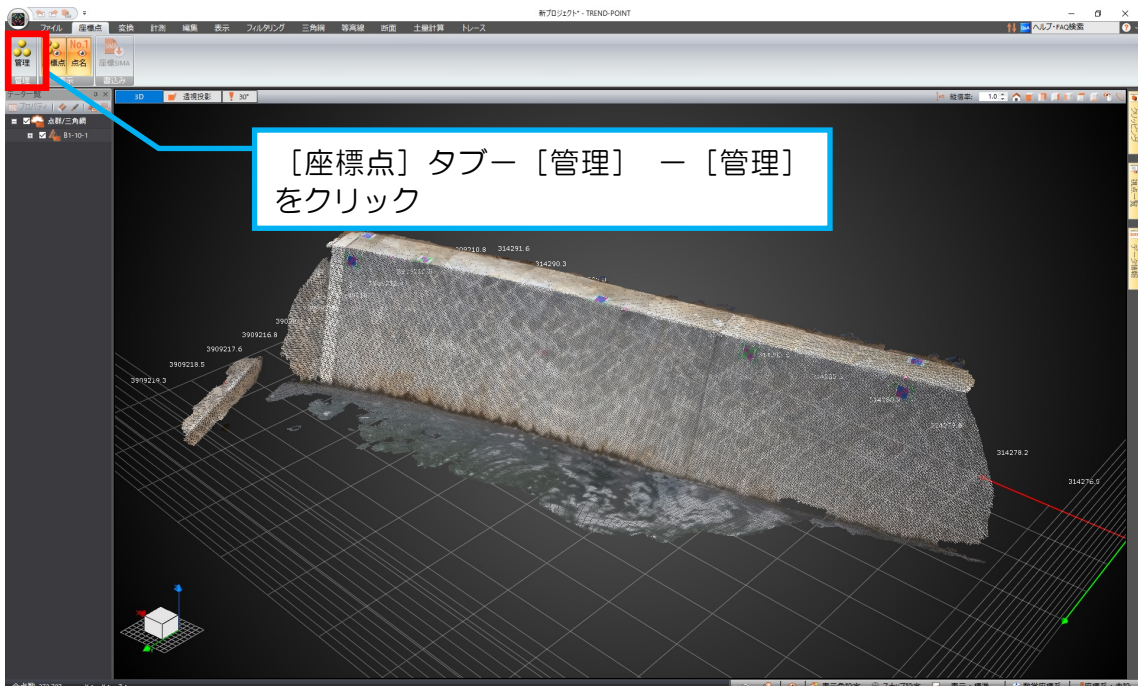
④読み込んだデータが表示されます。



使い方

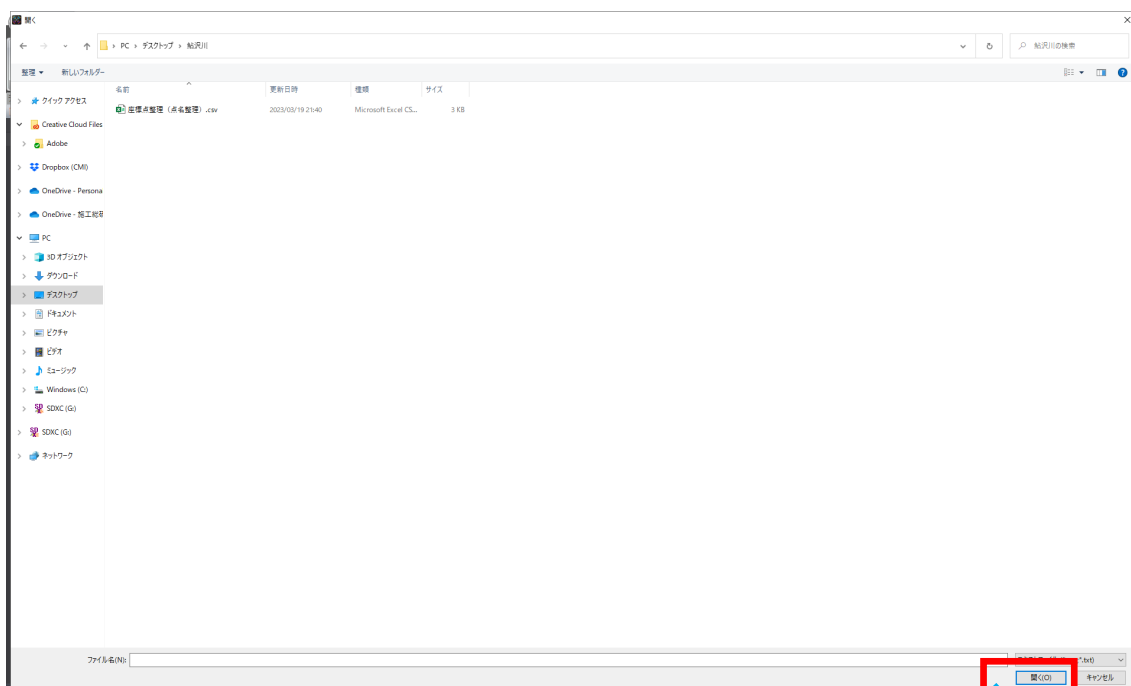
2 標定点のCSVデータの入力

①CSVデータを入力します。



使い方

②CSVデータを選択します。



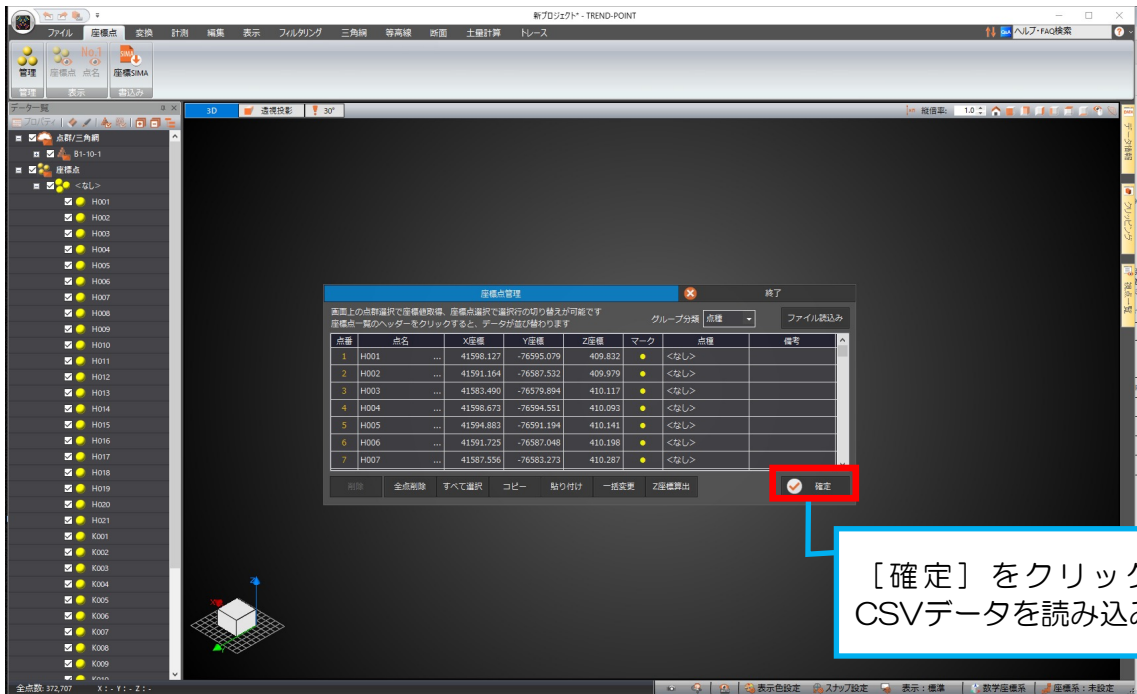
「開く」をクリック

③CSVデータの読み込み方法を指定します。

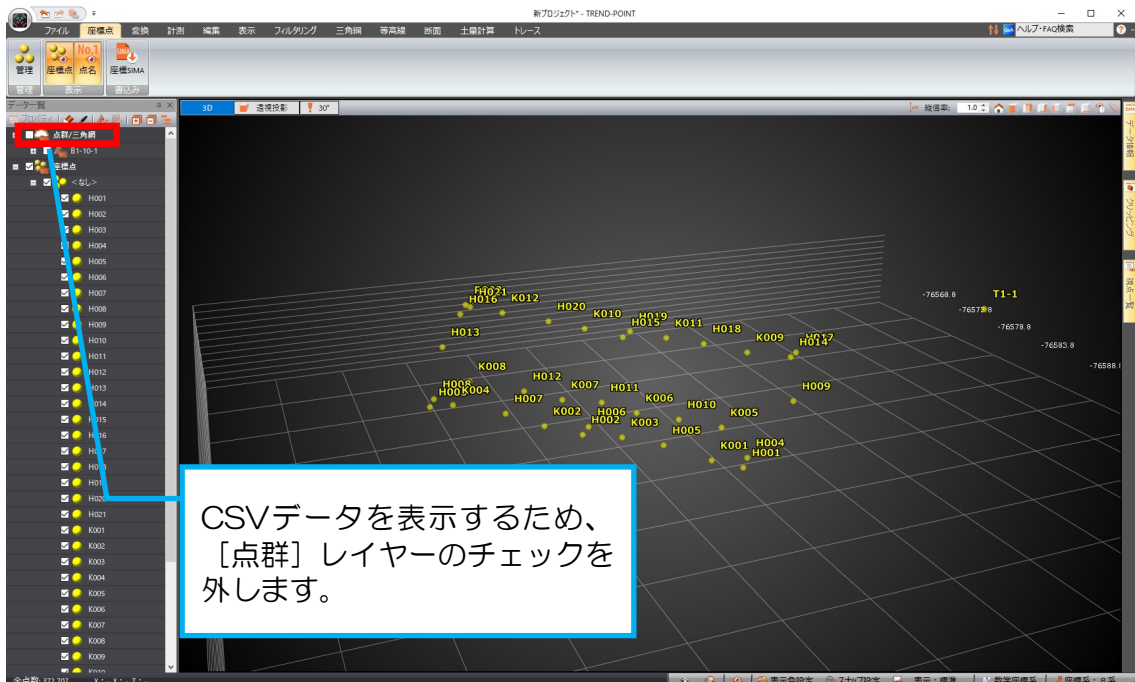


使い方

④ CSVデータを読み込みましょう。



⑤ 読み込んだデータが表示されます。



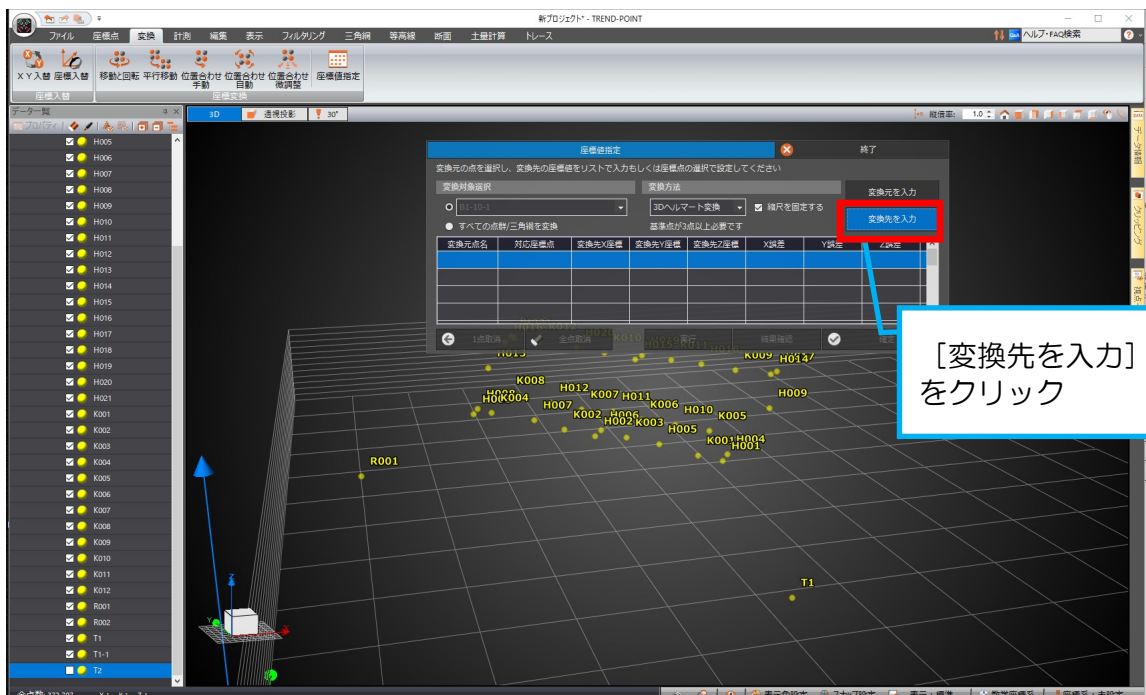
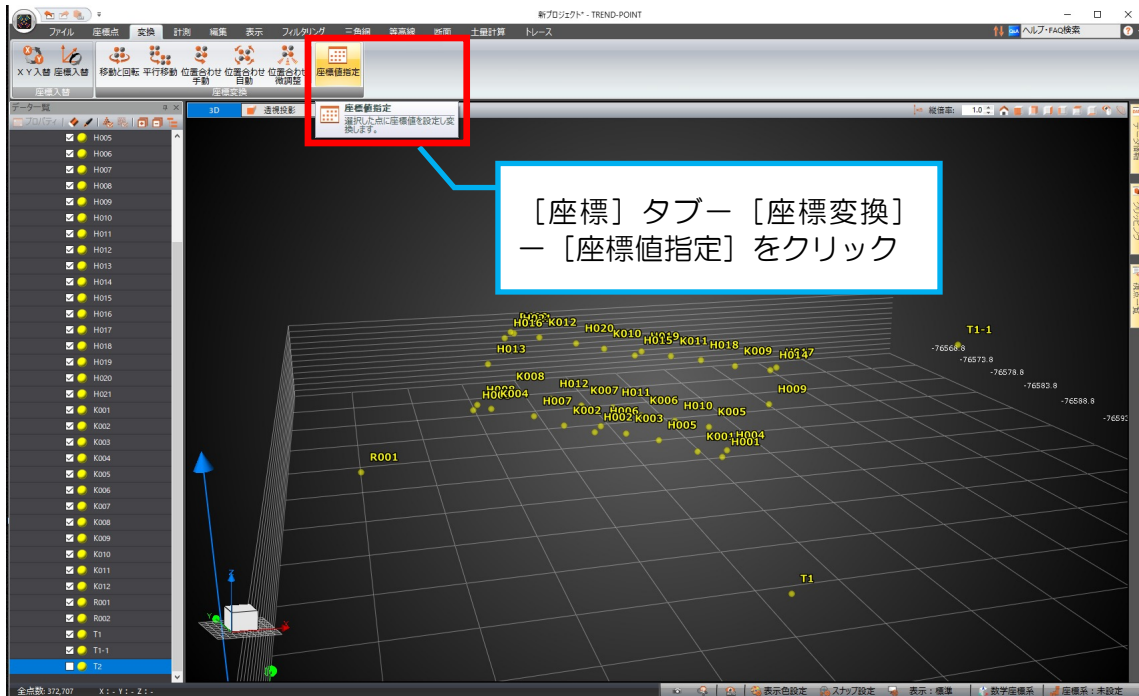
使い方

データの座標変換(位置合わせ)の仕方を説明します。

3 座標変換（位置合わせ）

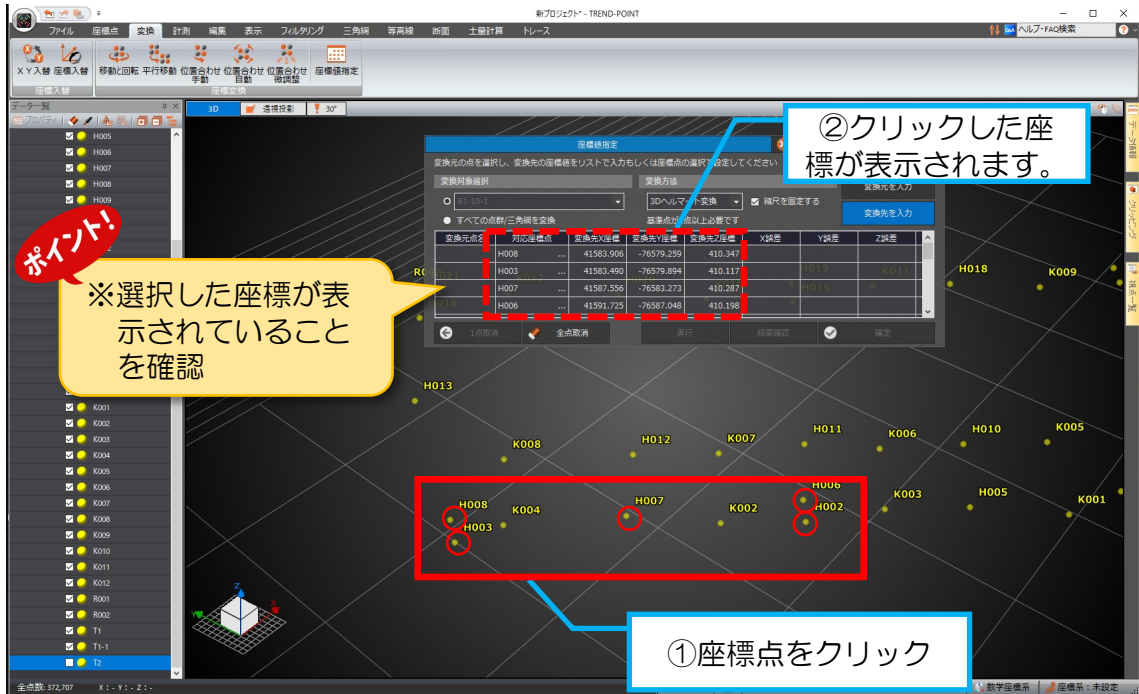
①座標変換のメニューを選択します。

※なお、座標変換は、各種アプリケーションで実施手順、変換方法が異なります。

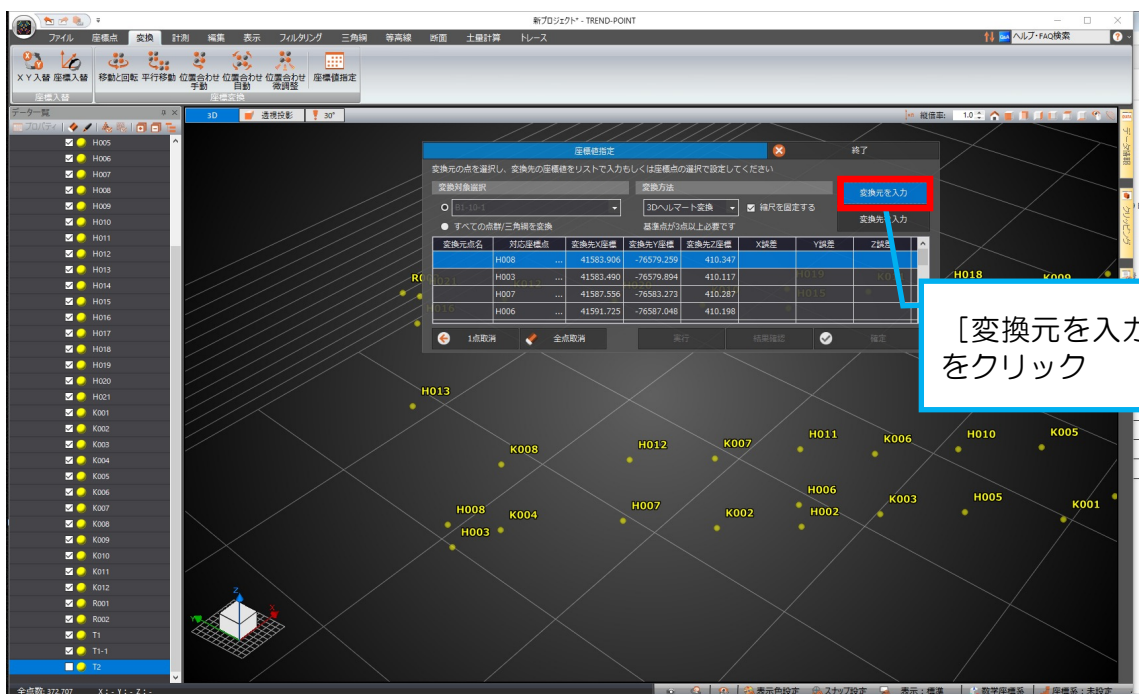


使い方

②変換先（標定点CSVデータ）の座標データを選択します。

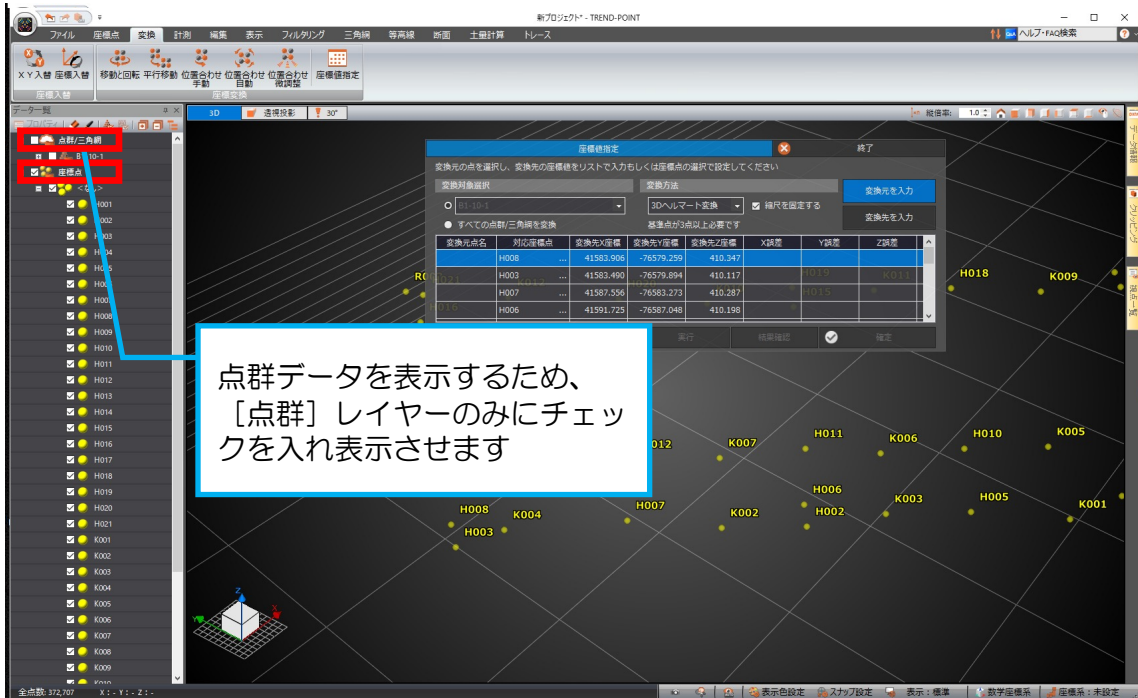


③変換元（点群データ）の座標を入力します。

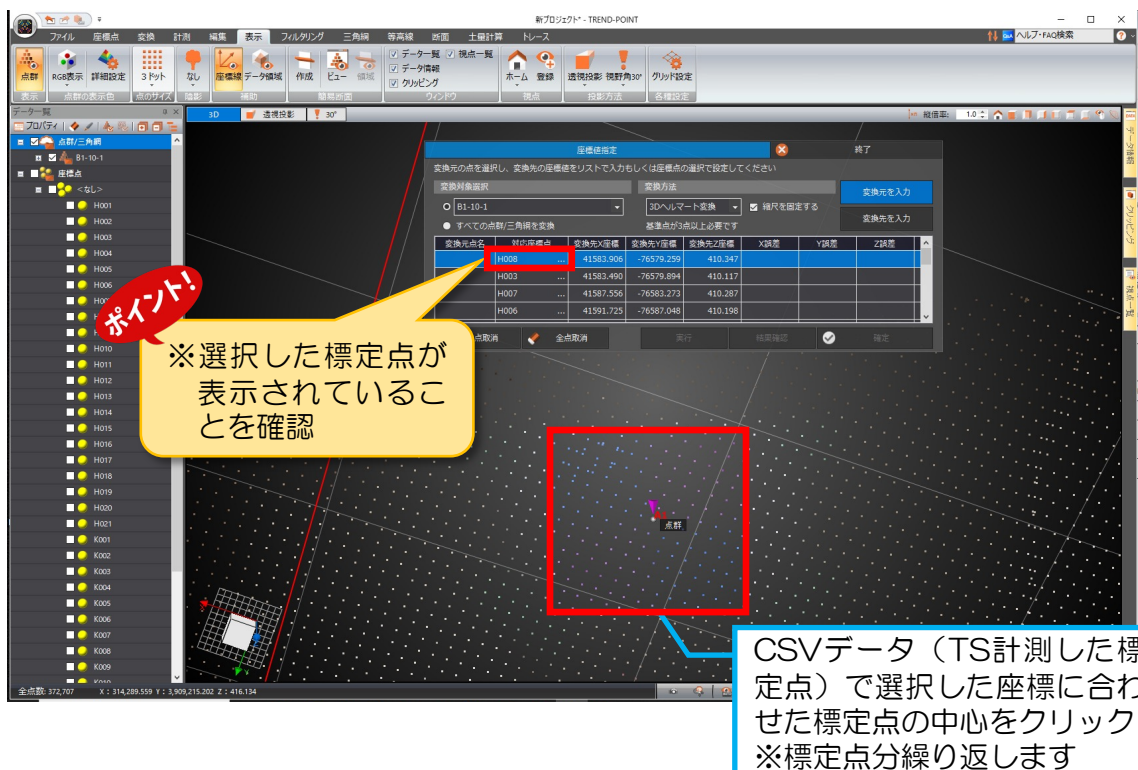


使い方

④変換する点群データを表示します。



⑤標定点の中心をクリックします。



使い方

⑥座標変換（位置合わせ）をしていきます。

ポイント!

※様々な座標変換方法がありますので、計測精度等を考慮し、適切な方法を選択してください。

① [縮尺を固定する] のチェックを外します

② [実行] をクリック

ポイント!

※CSVデータと点群データが位置合わせしているか確認

変換元点名	対応座標点	変換元X座標	変換元Y座標	変換元Z座標	X誤差	Y誤差	Z誤差
A3	H007	41587.596	-76583.273	410.287			
A4	H006	41591.725	-76587.048	410.198			
A5	H002	41591.164	-76587.532	409.979			

⑦CSVデータと点群データの座標変換（位置合わせ）が出来ているか確認しましょう。

② [はい] をクリック

①座標変換結果を確認し、[確認] をクリック

使い方

LASデータを保存していきましょう。

4 保存

①LASデータを保存します。

